

平成 19 年 7 月 10 日

6 号機屋外における消火栓配管からの水漏れについて

平成 19 年 7 月 9 日、6 号機屋外に埋設された非常用海水系配管ダクトの耐震性向上工事*において掘削作業を行っていたところ、午前 11 時 12 分頃、埋設されていた消火栓配管を破損させ、非放射性の水が漏えいしました。

水漏れは当該配管の弁を閉めたことにより停止しました。

調査の結果、破損した消火栓配管は、図面上の位置と実際の埋設位置とがずれていたこと、また、当該配管は、過去の地盤改良工事により土壌が硬化した箇所よりも深い位置に埋設されていたため、当該配管の埋設位置まで試掘することが困難であり、事前の試掘調査ではその存在を確認できなかったことから、破損させたことがわかりました。

今回の対応として、破損した消火栓配管は使用しないこととし、新たに当該部の配管を設置します。

今後の掘削作業については、同様な事象を発生させないように、近傍に埋設物が存在する可能性が高い場合には、試掘調査方法を検討した上で試掘を行い埋設物の有無を確認し、作業を実施します。

なお、漏えいした水の量は約 1,200 リットルであり、これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 非常用海水系配管ダクトの耐震性向上工事

配管ダクト周辺の地盤にセメント系固化材を噴射・混合し、周辺地盤を強固にするための工事。